

【PFC-FD™療法とは】

当院では「今の治療に満足できないけれど、手術はしたくない」といった患者さんにバイオセラピー【PFC-FD™療法】をご紹介します。ご自身の血液から血小板由来の成長因子を抽出し、患部に注入することにより抗炎症作用や鎮痛作用の継続的な効果を期待する治療です。

ご興味のお有りの方はぜひ医師にご相談ください。

また【PFC-FD™療法】についてのより詳しい情報は下記リンクに掲載されていますので、ご興味のある方はぜひご覧ください。

<https://seikei-online.jp/column/knee/223>

【PFC-FD™とは】

PFC-FD™療法は、人の持つ自己治癒力を活用した新しい治療法です。血小板は、血管が損傷した時その場所に集まって傷口を塞いで血を止めるとともに創傷治癒を促す成長因子も放出します。

その成長因子の濃縮物(PFC-FD™)を患部に注射することで自己修復力を活性化させ、損傷部のより早い修復や治りにくい組織の修復を促します。また自己血液から作製されたものを使うので、拒否反応や感染症のリスク、その他の副作用が少ないことも特徴の一つです。

【PRP を応用した技術】

ゴルフのタイガーウッズ選手や野球では大谷翔平選手が怪我の改善に活用したことで話題になった「PRP(多血小板血漿)療法」があります。PFC-FD™療法はその PRP 療法を応用した技術です。

現在では PFC-FD™療法も PRP 療法と同様に関節症・関節周囲の靭帯・軟部組織などの治療に活用が始まっています。

【PFC-FD™療法はこのような患者さんにお勧めです】

- ・変形性膝関節症・半月板損傷・靭帯損傷・テニス肘・腱鞘炎などでお悩みの方
- ・できるだけ手術を受けたくないとお考えの方
- ・ヒアルロン酸注射をずっと受けている方
- ・グルコサミン、コンドロイチンなどを飲み続けているが効果があまり感じられない方など

【PFC-FD™療法を受けられない患者さん】

- ・がんの既往歴がある方
- ・がんで治療中の方
- ・感染症にかかっている方

【PFC-FD™療法の手順について】

1. 問診・診察を行い、PFC-FD™療法が適応かどうか判断します
 2. 採血を行います(約50ml)
 3. 厳格な管理がなされた加工センターへ血液を輸送します。血液検査を行い、問題なければ PFC-FD™療法を作成します
 4. 約3週間後、患部に PFC-FD™を注射します。入院・手術は不要です
- ※血液検査を行い、感染症(HIV・HBV・HCV・梅毒、HTLV—1)検査で陽性反応が出た方は、PFC-FD™療法を受けることが出来ません。この場合血液検査費用(15000円税込)をご負担いただきます。予めご了承ください。

【PFC-FD™療法の費用について】

全額自己負担となり、下記の治療費を採血日に全額お支払いいただきます。

採血・血液検査・PFC-FD™作成及び注入 160000円(自由診療)

詳細は医師にお尋ねください。

※PFC-FD™は、セルソースの提供する商標です